

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌旭ヶ丘校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		月利用予定を計画的に作成運営しています。	法令遵守の運営とさせて頂いています。
	②	職員の配置数は適切である	○		利用定員に対して適切に配置しています。	法令遵守の職員配置としています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		教室内は極力段差等のない環境としています。2022年度飛び出し防止の柵を事業所内に設置、安全性を高める。	重症心身障害児以外を対象としている為、バリアフリー化が進んでいないのが現状。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎朝清掃を行っています	活動後の消毒、室内の換気、検温等を行っています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		朝礼、終礼時、月1回の会議、若しくはチャットツールを使用して情報共有を行っています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者向けの評価を実施、保護者意向を踏まえ出来得る限りの改善に努めています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		集計結果はクラ・ゼミのHPにて公開しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価は現在行っていません。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部では定例研修を ZOOM で実施、外部研修も希望者へは参加許可としています。	
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者の要望を受け、ニーズや課題を集約、その上での計画作成としています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		グループに於いて療育のヒントとなるべき本を発刊、NCプログラムの導入等。	

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		フィードバック時の情報、家庭や学校での様子、支援時の様子を基に設定させて頂いています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		児童の当日の体調や状態を確認しつつ療育を行っている。	支援計画に沿って療育を行っています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		できる限り、複数担当制として多様な意見が取り入れる事ができる環境としている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		指導員間で支援の情報共有を行いプログラムの立案を行っている。	可能な限り、固定指導員制とならないように配置、多様な意見を取り入れて固定化しないように考えています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	△		個別療育の希望が多いのが実情となるが、保護者の要望、児童の発育段階においては集団活動もとりいれている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			職員間での情報共有を行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			当日での情報共有が難しい場合は翌日、若しくは翌々日には行えるよう共通認識としています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録を見直す事で児童の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新。	
⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		必要に応じて不定期での見直しも行っている。		
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	△			児童との関わり、信頼関係が高い指導員を優先的に参加できるような環境作りを可能な限り実施。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	△		保護者の意向を優先。	連携としての実施は低め。但し、事業所としては連携に関しては問題なし。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—	—	医療的ケアの必要な児童の通所はありません。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）	—	—	—	医療的ケアの必要な児童の通所はありません。

	子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	△		保護者のご要望にて適宜おこなっています。	現状、ご要望がない状況となっています。ご要望があれば相互理解、情報共有とさせていただきます。
②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	△		保護者のご要望に於いて適宜行っている状況です。	現状、ご要望がない状況となっています。ご要望があれば相互理解、情報共有とさせていただきます。
②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	△		可能な限りの参加としています。	
②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	△		保護者からの要望がないのが現状。	
②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	△		可能な限りの参加としています。グループを代表して他校舎になりますが1校参加しています。	
③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		電話での連絡、事業所内での相談等、適宜行っています。	
③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		ペアレント・トレーニングを、実施できる職員が不在。	
③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		職員からの声掛け等から別途時間を作り実施。	日頃のフィードバック時に丁寧に説明させて頂いています。
③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			今後、要検討。
③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		重要優先項として迅速な行動をしている。	職員間で情報共有を行い、迅速な対応を心がけ運営を実施。
③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		HPの公開、元気サーチ、ワムネット等に登録公開中。	2週間に1度の更新。療育情報等については継続してクラ・ゼミHPより発信中。

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		PC や書類等の持ち帰りは行わない行動としています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		場面性緘黙症、聴覚過敏、視覚過敏等、児の特性に合わせた配慮を可能な限り行っています。	細心の注意を払いつつ対応。保護者への会話の機会を大切にして対応。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		△	コロナ状況を鑑みて率先して現状行っていません。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			事業所内において、各種マニュアルを開示、共通認識としている。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		動画での研修、市の防災マニュアルの確認等を行っている。	定期的に利用者も含め避難訓練の実施。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			個別対応を実施。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			基本、飲食は行わない。飲食が伴うケースが想定される場合は事前に情報収集を行う。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待研修、身体拘束研修を定期的実施している。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌旭ヶ丘校 保護者等数（児童数）：3 回収数：2 割合：66.6%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	2					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	2					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		1			
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	2					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか				2		

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	2					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			1	1	これに関しては私は必要と思っておりません。	ご要望の際はいつでもご相談ください。適宜対応させていただきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2					
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1			1		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	2					
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2					
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2					
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	2					
	㉓	事業所の支援に満足しているか	2					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。